



先月上旬、ペルセウス座流星群を観ようと夜空を仰いでいたら、数回、目の端々にチラッとそれらしき光るものを認めたが、なかなか真正面で捉えることは叶わなかった。

しかしその約1週間前は偶然北の上空にとてつもなく大きな火の玉を見た。 辺り一面が一瞬明るくなるような大きさだった。どこかで隕石が落ちたのだろうか。 今までの人生で初めて見る光景だった。

後で知人に話したら、他にもその火の玉を見た人がいたそうだ。

その時、夏の夜空も話題になった。木星や土星そして夏の大三角形等である。

確か以前は拙宅の庭から高い夜空にくっきりと天の川が確認できたのだが、この頃は空全体が低くてぼやけているのか確認できなかった。

子供の頃宇宙のことを思った。何処まで続いているのかと。人に聞いてもみた。宇宙の果ては何も無いのだと教わった。ではその何もない所はどこまで続いているの

かと考えた。考えただけで頭がおかしくなりそうな気がしたものだ。

大人になっても小生の頭の中は全く進歩していない。未だに宇宙の果てのことを 考えているとおかしくなりそうである。

宇宙だけではなくこの世の中、今もって分からないことだらけだが、長い修行の間に一つだけ少し分かりかけたことがある。

今まで弟子から信頼されるようにと励んできたつもりだが、実はそれだけでは片手落ちだと気付いた。

弟子の良い面を見つけて人として尊敬しなければいけない。くっきりした夜空でないと天の川が見えないように、弟子を信じていないと弟子の長所も短所もくっきりとは見えてこない。口先だけの指導では心は通じない。心が伴わないと真理は伝わらない。

弟子を信じ切れずに、もうこれくらいで良いかと妥協しなかったか、あるいは不安なあまりに過剰にさせなかったか、弟子を信じ切れなかったとしたらそれは己自身を信じ切れなかったことではないのか、本当にあれで良かったのかとどこかで後悔の念が湧いてくる。

修行も宇宙のようなものだ。どこまで行っても果てがない。行き着く先を考える のではなく、ただ一歩一歩進むしかない。その時折にキラリと光るものを楽しみに して。

秋の夜長、虫の鳴き声でも聞きながら、天高く澄み切った夜空の四辺形 (ペガスス座) でも探してみようかしらん。己の心を澄まして。

主な活動・九月・十月の予定

主な活動

8月29日(土) 八段審査会 全剣連 京都府

8月30日(日) 七段・六段審査会 全剣連 京都府

九月・十月の予定

9月21日(月祝) 福岡県居合道段位審査会 福剣連 武道館

編集後記

最近出かける予定もめっきり減り、稽古の方もなんとか稽古はできているも、何時また体育館が閉鎖されるやわからない。それにしても家に篭っているとネガティブになるので、少し用心しながら積極的に出かけることにした。

当然三密を避けることは言うまでもない。考えたのは、日曜の早朝なら何処に行っても人はほぼ居ない。朝食べて出かけ、遅くとも昼までに戻り、できるだけ人と接触しないというお出かけは可能か?

そうだ散歩がてらツーリングしよう!ということで朝5時ごろ家を出て、福岡のあまり行ったことのない所に気軽にふら~っと出かける。ツーリングなんて37年ぶりだーとかほざきながらw

第1回は朝倉の三連水車まで、2週目は行橋からメタセの杜経由中津市>日田経由で帰りました。3週目は虹の松原から三瀬峠経由佐賀から鳥栖に抜けて帰りました。予算は1500円ほどw(ガソリンが200km走って500円前後、その他飲食など1000円、安!)生の松原のつもりが唐津まで行ってしまった。佐賀やし!

人に会うどころか店さえ開いてないこのツーリングに「朝のお散歩ツーリング」 とまんまな名前を付けぶらぶらしとります。

いろいろ近所のまだ見たことのないところを巡り、どっぷりと福岡県を染み込ませようと早朝からバタバタしとります。おかげで、手と顔はマックロクロスケ!何処かお勧めのところがありましたら是非ご教授くださいませ。

© 公益社団法人 福岡県剣道連盟·福岡県剣道連盟 居合道部

第170号令和2年9月発行

発 行:福岡県剣道連盟居合道部

URL: http://riai.info/

発行人: 井手友太

〒819-1132 糸島市有田 36 番地 -1

TEL:092-322-0847

編 集:有限会社 FEW

表紙:篠栗南蔵院不動田王